

平成21年8月6日

各位

上場会社名	極東開発工業株式会社
代表者	代表取締役社長最高執行責任者 筆谷 高明
(コード番号)	7226)
問合せ先責任者	取締役常務執行役員財務部長 中井 一喜
(TEL)	0798-66-1500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,000	△300	△250	△180	△4.53
今回発表予想(B)	23,600	△1,400	△1,300	△1,100	△27.68
増減額(B-A)	△5,400	△1,100	△1,050	△920	
増減率(%)	△18.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	39,995	1,414	1,577	827	20.47

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,500	500	620	320	8.05
今回発表予想(B)	55,400	△900	△800	△800	△20.13
増減額(B-A)	△5,100	△1,400	△1,420	△1,120	
増減率(%)	△8.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	72,116	473	584	△1,051	△26.24

修正の理由

当第1四半期における世界経済は、景気低迷の影響により企業収益や雇用環境が悪化するなど、厳しい状況で推移いたしました。日本経済も同様に厳しい環境が続いており、景気の回復には未だ時間を有するものと思われま。

主力の特装車事業につきましては、平成21年5月13日の期初公表時点のトラック市場予測を更に大幅に下回る水準で推移しており、非常に厳しい状況が続いております。昨年後半からの市場環境の悪化に対処するため、グループ会社の統合や生産体制の見直し、人員の削減やコストダウンによる損益の改善に取り組んでおりますが、期初予想に比べて一段と受注が減少したため、売上高、利益ともに公表値に対して大幅に減少する見通しです。

なお、環境事業につきましては、採算性を重視した選別受注やメンテナンス・運転受託事業への注力により、期初予想に比べて損益が改善する見込みです。不動産賃貸等事業は、ほぼ計画通り推移しております。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間ならびに通期の連結業績を上記のとおり修正いたします。

今後も、受注の確保、生産の効率化、最適な資材調達体制の確立などによるトータルコストの削減等により業績の改善を図ってまいります。また、生産拠点の統廃合等による経営の効率化や、資産の流動化等による財務体質の強化にも努めることで、早期の黒字化を図るべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以上